



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

コード番号 3850 URL <http://www.intra-mart.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山義人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 鈴木誠

TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日 平成24年10月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,455	△11.1	130	14.8	129	16.8	76	25.9
24年3月期第2四半期	1,636	19.9	113	51.9	110	53.6	61	51.3

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 73百万円 (26.4%) 24年3月期第2四半期 58百万円 (6.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3,105.63	—
24年3月期第2四半期	2,744.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	3,501	2,463	68.2	96,451.71
24年3月期	3,443	2,411	67.7	94,151.38

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 2,389百万円 24年3月期 2,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	900.00	900.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,100.00	1,100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	17.1	460	34.4	464	34.2	265	45.0	10,696.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	24,775 株	24年3月期	24,775 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	24,775 株	24年3月期2Q	22,275 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復旧に伴う緩やかな景気回復は見られたものの、欧州の金融危機や新興諸国の成長率の鈍化等、世界景気の下振れリスクや長引く円高等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

情報産業分野においては、クラウドコンピューティングやSaaSといった新規分野の拡大により、Webシステムの重要性は一層高まっているものの、先行きの不透明感から全般的に設備投資に慎重な傾向が見られ、依然として厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、「①市場におけるプレゼンスの確立、②高い品質及び顧客満足度の実現、③コーポレートガバナンスの充実」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には、「市場におけるプレゼンスの確立」として、海外地域での案件の増加に伴い、グローバル推進本部を新設するとともに、主にアジア地域における拡販活動の充実を目的として、2012年9月1日に香港に駐在員事務所を開設しました。

「高い品質及び顧客満足度の実現」としては、各種機能を強化した次世代システム構築基盤「intra-mart Accel Platform」の開発をすすめ、10月1日にリリースしました。

この結果、当社グループの平成25年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,455,714千円（前年同四半期比11.1%減）、営業利益130,079千円（前年同四半期比14.8%増）、経常利益129,328千円（前年同四半期比16.8%増）、四半期純利益76,942千円（前年同四半期比25.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナーを通じて販売しており、ワークフローを中心とした基盤製品を中心に好調に推移し、新バージョンのリリースを見越して一部アプリケーションの受注に遅れがみられたものの、全般に好調に推移しました。

この結果、売上高は945,450千円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

② サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、昨年度に引き続きコンサルティングサービスの受注は好調に推移したものの、第1四半期に続き、複数の大型SI案件の受注が遅れ、全般に低調に推移しました。

この結果、売上高は510,264千円（前年同四半期比38.9%減）となりました。

(当グループの四半期業績の特性について)

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業（コンサルティング、システム開発等）は、一般企業を対象としており、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準（検収基準）である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2、4四半期に集中する傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産は、パッケージ事業における開発途中の市場販売目的ソフトウェアであるソフトウェア仮勘定が増加したことにより、3,501,606千円となり、前連結会計年度末に比べ58,514千円、1.7%の増加となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、パッケージ事業の製品保守の未経過分である前受金が増加したことにより、1,038,159千円となり、前連結会計年度末に比べ6,849千円、0.7%の増加となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したものの、四半期純利益を計上したことにより、2,463,447千円となり、前連結会計年度末に比べ51,665千円、2.1%の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

情報産業分野は、電気料金の値上げなどの影響により、企業のIT投資は引き続き抑制される傾向にあると思われます。当社グループがターゲットとするWebシステムの環境も、クラウドコンピューティングやSaaS等の新たな分野での展開が実現しているものの、これまで以上に投資対効果の高いサービスが求められており、引き続き厳しい環境が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは引き続きSaaS・クラウドコンピューティング分野への進出に向けた統合的Webソリューションを提供するため、継続的な製品開発やソリューションの開発を積極的に取り組んでまいります。

また、短納期・低コストといった市場動向は続くと思われませんが、グループ全体で付加価値の高いソリューションの提供やサービスレベルの向上を実現することにより、エンタープライズ領域への事業領域の拡大を図ります。

なお、サービス事業において、複数の大型SI案件の受注が遅れたものの第3四半期には当該受注が見込まれること、パッケージ事業においては新製品もリリースされ、第2四半期の業績も概ね堅調に推移していることから、業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,635	1,607,327
売掛金	461,400	314,699
たな卸資産	24,674	48,261
繰延税金資産	40,636	46,437
その他	94,042	119,908
貸倒引当金	△25	△20
流動資産合計	2,464,362	2,136,613
固定資産		
有形固定資産		
建物	36,482	35,812
減価償却累計額	△26,215	△27,384
建物(純額)	10,267	8,427
工具、器具及び備品	53,425	55,167
減価償却累計額	△29,450	△33,381
工具、器具及び備品(純額)	23,975	21,786
有形固定資産合計	34,242	30,214
無形固定資産		
ソフトウェア	238,217	199,997
ソフトウェア仮勘定	434,728	863,418
その他	72	72
無形固定資産合計	673,018	1,063,488
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
敷金及び保証金	107,005	107,538
繰延税金資産	63,149	62,340
その他	1,312	1,411
投資その他の資産合計	271,467	271,290
固定資産合計	978,729	1,364,993
資産合計	3,443,092	3,501,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,075	133,011
未払法人税等	131,596	70,256
前受金	414,846	550,480
賞与引当金	62,344	61,878
その他	149,248	105,279
流動負債合計	925,110	920,907
固定負債		
退職給付引当金	104,251	115,493
資産除去債務	1,485	1,488
その他	463	269
固定負債合計	106,200	117,252
負債合計	1,031,310	1,038,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	668,756	668,756
利益剰余金	945,434	1,000,079
株主資本合計	2,352,947	2,407,591
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20,346	△18,000
その他の包括利益累計額合計	△20,346	△18,000
少数株主持分	79,181	73,855
純資産合計	2,411,781	2,463,447
負債純資産合計	3,443,092	3,501,606

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,636,705	1,455,714
売上原価	1,001,627	708,572
売上総利益	635,078	747,142
販売費及び一般管理費	521,732	617,062
営業利益	113,346	130,079
営業外収益		
受取利息	1,075	222
補助金収入	—	1,116
その他	60	368
営業外収益合計	1,135	1,708
営業外費用		
為替差損	3,799	2,102
その他	—	356
営業外費用合計	3,799	2,459
経常利益	110,682	129,328
税金等調整前四半期純利益	110,682	129,328
法人税等	55,032	59,276
少数株主損益調整前四半期純利益	55,650	70,052
少数株主損失(△)	△5,477	△6,889
四半期純利益	61,128	76,942
少数株主損失(△)	△5,477	△6,889
少数株主損益調整前四半期純利益	55,650	70,052
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,871	3,910
その他の包括利益合計	2,871	3,910
四半期包括利益	58,521	73,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,850	79,288
少数株主に係る四半期包括利益	△4,328	△5,325

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	801,360	835,345	1,636,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,693	39,811	43,505
計	805,053	875,157	1,680,211
セグメント利益	240,713	48,736	289,450

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	289,450
セグメント間取引消去	6,380
全社費用（注）	△182,484
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	113,346

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	945,450	510,264	1,455,714
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,075	69,864	82,940
計	958,525	580,129	1,538,655
セグメント利益又は損失(△)	400,288	△56,855	343,433

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	343,433
セグメント間取引消去	△7,088
全社費用（注）	△206,264
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	130,079

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。